

医学科 カリキュラム

国際基準にあったカリキュラムを設計しており、次の3点を6年間に渡って考える教育を行っています。

- ①卒業時において出来なければならないことを明示し、段階的・継続的に履修していくこと
- ②臨床実習の枠の拡大、診療チームの一員として臨床実習を行い、ベッドサイドから学ぶこと
- ③一般教育の概念を拡大し、医療倫理、プロフェッショナリズムを含んだ内容

※一部変更の可能性あります。

◎選択必修科目 △自由選択科目

1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
人間学系科目 医療心理学・死生学 哲学 社会科学 生命倫理学 ◎医療と保健の歴史 ◎法学 ◎人間理解のための文章講読 ◎医療人類学	外国語科目 English For Medical Purposes I ◎独語 ◎仏語 △中国語 △韓国語 △スペイン語	医療プロフェッショナリズムⅠ	医療プロフェッショナリズムⅡ 医療倫理	医療プロフェッショナリズムⅢ	English For Medical PurposesⅢ	English For Medical PurposesⅣ					
	自然科学系科目 自然科学基礎 医系の物理学 医系の物理学実習 医系の化学 医系の化学実習 生物学 生物学実習 生命現象の科学Ⅰ 生命現象の科学Ⅱ △人体の物理学 △先進医療のための科学 △数学	基礎医学系科目 解剖学(1) 解剖学(2) 生理学(1) 生化学(分子生物学概論) 基礎医学統合演習Ⅰ	解剖学(1) 解剖学(2) 生理学(2) 生化学 免疫学 薬理学 病理学 微生物学 運動医学 医用電子工学 基礎医学統合演習Ⅱ	病理学 臨床医学Ⅰ 臨床入門 循環器系 血液・造血器・リンパ系 消化器系 腎・尿路系 神経系 呼吸器系 内分泌・栄養・代謝系 免疫・アレルギー疾患 感染症 緩和医療Ⅰ・漢方・CPC	乳房 救急医療 臨床腫瘍学 生殖機能 妊娠と分娩 成長と発達 臨床遺伝学 加齢と老化	グループ別自主研究	臨床医学Ⅱ 皮膚系 耳鼻・咽喉・口腔系 麻酔 眼・視覚系 運動器(筋骨格)系 精神系 症候・病態からのアプローチ 医療安全Ⅰ 基礎的診療知識・技能	医療安全Ⅱ 緩和医療Ⅱ・診療録の記載			臨床医学Ⅴ (臓器別集中講義)
	臨床医学系科目 症候・病態学入門		社会医学系科目 社会医学	医学・医療と社会Ⅰ	医学・医療と社会Ⅱ 法医学						
横断的領域科目 課題研究 データサイエンスⅠ	情報科学Ⅰ データサイエンスⅡ	行動科学・患者学Ⅰ 3大学協働授業	情報科学Ⅱ	情報科学Ⅲ	行動科学・患者学Ⅱ						
	臨床実習 早期臨床体験実習Ⅰ	早期臨床体験実習Ⅱ	地域医療実習	臨床医学Ⅲ 臓器別コース臨床実習	臨床医学Ⅳ 診療参加型臨床実習						

「自由な学び」を実現する 2022年度から「自由科目」を導入(2023年度より、「自由な学び系科目」に改名)。建学の精神「自主自学」に基づき、学生の「能動的な学び」を推進。

「少人数ゼミ形式」の自由な学び系科目

- リサーチ・コース〈第1～5学年〉…研究室に所属し研究の方法論を体系的に学び、学術論文を書くレベルまで科学する
- USMLE 受験準備コース〈第2～5学年〉…米国医師国家試験(USMLE)の受験サポートを行う
- 海外臨床実習コミュニケーション〈第5学年〉…海外臨床実習の準備を行う
- 地域医療リーダーズコース〈第1～5学年〉…地域医療を深く学び、将来のリーダーを育てる
- Road to Top Surgeon〈第3・4学年〉…外科学・手術の魅力を理解する
- オンデマンド教材の整備/eポートフォリオの一層の活用/オンラインによる国内・海外大学との協働演習・PBL / VR,VRシミュレーション実習の導入

柔軟で、多様な主体的な学びへ ICT(情報通信技術)を活用することで、従来の教育の在り方を抜本的に変革させる